

令和3年度
2021年度
事業計画

社会福祉法人めぐみ学園

日の出保育園

テーマは、「振り返り “ことばがけ”」

新型コロナウイルスへの対応とお礼

コロナ禍の1年、緊張や不安、公私にわたる制約。この間のご苦勞に重ねてお礼申し上げますとともに、今後も肅々と対処していくしかありませんので、引き続きよろしく願いいたします。

“振り返り”の1年

令和2年度のテーマは、“振り返り”でした。

教務G

- ① 個々に設定する自己目標が極めて具体的な表現になりました。
- ② 教務グループを中心に既存の「計画」「マニュアル」などについて振り返り、再整理を行いました。

園内研修

- ③ 園内研修では、保護者支援の在り方や、日常保育の悩みから保育実践を振り返り、実践レベルで互いの考えを述べ合い、改善のヒントを共有しました。

自己チェック

- ④ 新たに作成した「自己チェックシート」により、「保育への関わり」等の5分野にわたり年2回、自ら振り返る機会を持ちました。

コロナをプラスに

- ⑤ コロナ禍の影響で、従来の行事を企画し直すことによって、結果として新しい行事の形が見えてきました。

あなたの気付き
あなたの自覚

これらは、フォーマルなものです。大切なことは、個々の職員がいつ、どこで、どのように振り返りの機会を持ち、それがどんな気付きにつながったかです。その自覚です。

非認知能力の育成

幾度となく口にした「非認知能力の育成」。幼児期に重視される課題に向かう意欲や態度、社会性、粘り強さ、自己肯定感など、その最前線にいるのが保育士です。その自覚です。

ことばがけ

保育士の関わりが子どもの個性の伸長に欠かせないものであり、なかでも、「ことばがけ」の在り方に、今一度振り返ろうと伝えてきました。

まっすぐ！

このことから、令和3年度のテーマは、「まっすぐ！ことばがけ」。

“個人の当たり前”ではなく、“日の出保育園としての当たり前”をスタンダードとして、それを全職員で「まっすぐ！」貫きます。

ことばがけ

その最優先を「ことばがけ」とします。

「禁止」と「命令」

「待ち」の保育を原則としながら、実情は、「禁止」や「命令」が多くありませんか。「ダメ！」が口癖のあなたはいませんか。それが、あなたの当たり前でも、日の出保育園は「待ち」の保育です。だったら、自分の「ことばがけ」を振り返り、「まっすぐ！」向き合わなければなりません。

特別支援教育

特別な配慮や支援を必要とする子どもはもちろん、どの子であっても、一律の関わりでその子の個性が伸びるわけではないのです。

経験差 < 志

現状に「まっすぐ！」向き合い、改善を重ねます。経験差よりも志の高さ。創意工夫の繰り返し。前例を圧倒するそんな真摯な姿勢こそが日の出保育園のスタンダードであるべきです。自分の保育姿勢に「まっすぐ！」向き合い、目の前の子どものために、寝食を忘れ、親身になって関わりを工夫する専門職こそが日の出保育園に必要な職員です。

寝食を忘れ

日の出保育園 経営方針

1 保育理念

豊かな可能性を内に秘めた子ども一人一人の人格を尊重し、思いやりの心を育て、これからの社会をたくましく生き抜く基礎を培う。

2 保育方針

一生に一度のこの時期を日の出保育園で過ごせて良かったと語り継がれる保育園でありたい。そのため、保護者と保育者が一体となり、「安心」と「安定」をキーワードに、最善の保育環境を整え、子どもにとって、保育園が心の居場所となるようきめ細かな経営の充実に努めたい。

- “安心”とは、
保護者にとってあずけて安心、子どもにとって安らぎの気持ちで安心できる保育園であること
- “安定”とは、
保育者の視線が、子どもに注がれ、常に、質の高い保育を提供できる保育園であること

3 めざす姿

- 保育園 『笑顔いっぱい、元気いっぱい、友だちいっぱい』の保育園
- 子ども【生き抜く力】
 - ・自分の考えを話せる子ども
 - ・友だちと仲よく遊べる子ども
 - ・最後までやりとげる子ども
- 保育者
 - ・笑顔で子ども、保護者に接する保育者
 - ・子ども一人一人の育ちに気づき、実践を重ねる保育者
 - ・前例踏襲に逃げず、知恵を出し合い工夫改善を続ける保育者
- 三つの姿とめあて

子ども \ 保育園	笑顔いっぱい	元気いっぱい	友だちいっぱい	保育者	保育指針 育ちの姿(10項目)
自分の考えを話せる子	話をしっかり聞く	元気なあいさつと返事をしよう	気持ちをはっきり伝えよう	一往復半の仕掛け	思考力の芽生え 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現
友達と仲よく遊べる子	工夫して遊ぼう	体を使って遊ぼう	みんなと遊ぼう	遊びづくりの黒子	健康な心と体 協働性 道徳・規律意識の芽生え 社会性との関わり
最後までやり遂げる子	できることをいっぱい増やそう	自分でやってみよう	みんなで作ってみよう	ほめの達人	自立心 数量・図形、文字等 自然との関わり・生命の尊重

4 運営の基本

【保育】

- (1) 「全体的な計画」を不断に見直し、保育の質の充実を図る。〔保育所保育指針〕
- (2) 豊かな経験と「あそび」を支援し、子どもの育ちを保証する。〔育ちの姿〕
- (3) 心と体の健やかな成長を支え、基本的な生活習慣の定着を図る。〔基本的な生活習慣〕
- (4) 一人一人が認められ、大切にされる言葉がけで臨む。〔個性の伸長〕
- (5) 専門性向上を自覚し、質の高い保育実践を進める。〔専門性〕

【組織・運営】

- (6) 保護者の願いや期待に応える受容的、共感的な子育て支援を進める。〔保護者支援〕
- (7) 情報発信を工夫して、家庭や学校、地域、関係機関との連携を図る。〔連携・共生〕
- (8) 振り返りを習慣化し、常に保育所保育の改善を図る。〔振り返り〕
- (9) 法令等を順守し、福祉サービスの責任を全うする。〔危機管理〕
- (10) 自覚ある社会人として、最初から最後まで全員で課題解決に当たる。〔職場づくり〕

5 重点となる推進事項

【保育】

〔保育所保育指針〕 「全体的な計画」を不断に見直し、保育の質の充実を図る。

- (1) 体験を通し多様で変化のある学びを工夫する。
- (2) 日々の「あそび」を振り返る。
- (3) 「全体的な計画」を理解し、実践と関連づける。

〔育ちの姿〕 豊かな経験と「あそび」を支援し、子どもの育ちを保証する。

- (1) 子どもの主体的な「あそび」を保証する。
- (2) 個人の記録、作品、写真など、育ちの姿が見える化する。
- (3) 多様な機会、人材を活用し、「本物」に触れる。

〔基本的な生活習慣〕 心と体の健やかな成長を支え、基本的な生活習慣の定着を図る。

- (1) 粘り強く、きめ細かく、「待ち」の姿勢で支援する。
- (2) 保育士自身が子ども一人一人の育ちの違いを自覚する。
- (3) 特別な配慮を要する子どもを理解し、全職員が共通した支援体制で取り組む。

〔個性の伸長〕 一人一人が認められ、大切にされる言葉がけで臨む。

- (1) 子どもの育ちに合わせ「日の出スタンダード(例：挨拶、返事、聞く姿勢など)」に取り組む。
- (2) 子どもの心に寄り添う望ましい言葉がけを工夫する。
- (3) チーム保育を自覚し、子どもを多面的に支援する。

〔専門性〕 専門性向上を自覚し、質の高い保育実践を進める。

- (1) 園外研修を通し、スキルアップする。
- (2) 園内研修を通し、緊要な課題、実践的な内容を工夫する。
- (3) 自己目標を振り返り、自己研鑽し、日常実践に意識を集中する。

【組織・運営】

〔保護者支援〕 保護者の願いや期待に応える受容的、共感的な子育て支援を進める。

- (1) 送迎時の声かけ、便り、ボード、連絡帳など、情報共有による信頼関係づくりをする。
- (2) 保護者の声に耳を傾け、保育所保育の改善に生かす。
- (3) 内容の軽重を問わず、親身に、迅速に、組織として応える。

〔連携・共生〕 情報発信を工夫して、家庭や学校、地域、関係機関との連携を図る。

- (1) 学校訪問や教員との情報交換など、小学校との連携の形を継承し、円滑な接続に生かす。
- (2) HPや便り、行事の公開や職業体験受入れなど、地域における公益的な役割を果たす。
- (3) 関係機関等の専門性を活用し、緊密な連携の下、諸課題の解決につなげる。

〔振り返り〕 振り返りを習慣化し、常に保育所保育の改善を図る。

- (1) 振り返りは、〔評価(check)－改善(action)－計画(plan)－実施(do)〕を基本とする。
- (2) 運営評価から課題を整理し、目に見える改善策に取り組む。
- (3) 評価結果、改善点等を公表し、満足度の高い保育園を実現する。

〔危機管理〕 法令等を順守し、福祉サービスの責任を全うする。

- (1) 一人一人の「ヒヤリハット」を共有し、日常の安全管理を徹底する。
- (2) 子どもの命を最優先に、感染症、防災、アレルギーなど最新情報に基づく運営を進める。
- (3) 会計、文書管理、個人情報保護など、公私にわたり社会福祉法人として関係法令を遵守する。

〔職場づくり〕 自覚ある社会人として、最初から最後まで全員で課題解決に当たる。

- (1) 諸会議、職員面談、日常的な情報交換などを通じて、双方向で“気付き”を伝えあう。
- (2) 「報告・連絡・相談」を徹底し、全職員で着実に課題解決を図る。
- (3) 個々の事情を尊重し合う一体感のある職場づくりを目指す。

II 事業予定

I 事業予定

月	日	曜	行事等	月	日	曜	諸会議関係
4	1	水	令和3年度進級・入園式				
	13	火	身長・体重測定 内科検診 歯科検診				
	20	火	4月誕生会				
	28	水	子どもの日お楽しみ会				
5	10	月	運動能力測定(以上児)	5	14	金	令和2年度第4回監査会
	19	水	5月誕生会		21	金	令和3年度第1回理事会
6	3	木	遠足	6	11	金	令和3年度定時評議員会
	22	火	6月誕生会				第2回理事会
	25	金	遠足				
7	2	金	お泊り保育(~3)				
	20	火	7月誕生会				
8	4	水	夏まつり	8	18	水	第1回監査会
	6	金	七夕		25	水	第3回理事会
	27	金	8月誕生会				
9	1	水	防災の日 避難所避難訓練				
	15	水	運動会①				
	16	木	運動会②				
	28	火	9月誕生会				
10	1	木	リンゴ狩り(以上児)				
	4	月	個人懇談(10/4~8、10/11~15)				
	4	月	身体測定 内科検診 歯科検診				
	20	水	10月誕生会				
11	24	水	11月誕生会				
12	2	木	生活発表会①	12	16	木	第2回監査会
	3	金	生活発表会②		23	木	第4回理事会
	7	火	もちつき				
	15	水	12月誕生会				
	24	金	クリスマス会				
1	6	木	保育開始				
	14	金	雪中運動会				
	20	木	1月誕生会				
2	3	木	節分				
	8	火	2月誕生会				
	15	火	身長・体重測定				
3	3	木	ひなまつり	3	16	水	第3回監査会
	10	木	買い物ごっこ		24	木	第5回理事会
	15	火	3月誕生会				
	23	水	卒園式総練習				
	26	土	令和3年度第51回卒園式				
4	1	金	令和4年度第52回進級・入園式				
				5	13	金	令和3年度第4回監査会
					20	金	令和4年度第1回理事会
				6	10	金	令和4年度第1回評議員会

2 「なかよし ほいく」

なかよしほいく	対 象	実施回数等
もじや かずと なかよくなるろう	れもん・ぶどう組	年間 15～20 回程度
たいいくと なかよくなるろう	以上児	月 1 回
えいごと なかよくなるろう	れもん・ぶどう組	月 2 回 (れもん・ぶどう組各 1 回)
ボールと なかよくなるろう	ぶどう組	月 1 回
クッキングと なかよくなるろう	いちご組以上	年数回
ほんと なかよくなるろう	全クラス	随時
うたや りずむと なかよくなるろう	全クラス	随時

3 園児数

区分	クラス名	在 籍 数		合 計	移園児等内数	参 考 昨年度末
		男 子	女 子			
0 歳児	さくらんぼ	4	4	8	新 8	8
1 歳児	もも	6	9	15	新 7	18
2 歳児	いちご	7	11	18	新 1	18
3 歳児	りんご	7	14	21	移園 1 新 2	21
4 歳児	れもん	8	14	22	移園 1	21
5 歳児	ぶどう	7	14	21		15
合 計		40	66	105		101

※ 令和3年3月31日現在